

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-8989 (P2003-8989A)  
 【公開日】平成 15 年 1 月 10 日 (2003.1.10)  
 【出願番号】特願 2001-193383 (P2001-193383)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/243

G 0 3 B 15/03

G 0 3 B 19/02

H 0 4 N 5/238

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/243

G 0 3 B 15/03 X

G 0 3 B 19/02

H 0 4 N 5/238 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 27 日 (2004.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体を照らす補助照明手段と、  
 上記被写体を撮像する撮像手段と、  
 焦点距離に応じて上記撮像手段への入射光量が変化するズームレンズ部と、  
 上記撮像手段から出力される画像信号を設定されている増幅率で増幅する増幅手段とを備え、  
 上記補助照明手段を用いて撮影するときに、上記焦点距離に応じて上記増幅手段の上記増幅率の設定を変更するようにしたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

上記ズームレンズ部は、交換可能とされていることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

さらに、上記被写体の明るさを測定する測光手段を備え、  
 上記測光手段によって測定された上記明るさが所定値より明るい場合、上記増幅率の設定変更を行わないようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

さらに、上記被写体との距離を測定する測距手段を備え、  
 上記測距手段によって測定された上記距離が所定値以下となる場合、上記増幅率の設定変更を行わないようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

さらに、上記被写体の明るさを測定する測光手段と、  
 上記被写体との距離を測定する測距手段とを備え、

上記測光手段によって測定された上記明るさが所定値より明るい場合、且つ上記測距手段によって測定された上記距離が所定値以下となる場合、上記増幅率の設定変更を行わないようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

上記増幅率の上限を設定するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 7】

照明手段によって被写体を照らし、

撮像手段で上記被写体を撮像し、

焦点距離に応じてズームレンズ部の上記撮像手段への入射光量が変化するため、撮像された上記被写体の画像信号を設定されている増幅率で増幅し、

上記焦点距離に応じて上記増幅率の設定を変更するようにしたことを特徴とする撮像方法。

【請求項 8】

さらに、上記被写体の明るさを測定し、測定された上記明るさが所定値より明るい場合、上記増幅率の設定変更を行わないようにしたことを特徴とする請求項 7 に記載の撮像方法。

【請求項 9】

さらに、上記被写体との距離を測定し、測定された上記距離が所定値以下となる場合、上記増幅率の設定変更を行わないようにしたことを特徴とする請求項 7 に記載の撮像方法。

【請求項 10】

さらに、上記被写体の明るさを測定し、

上記被写体との距離を測定し、

測定された上記明るさが所定値より明るい場合、且つ測定された上記距離が所定値以下となる場合、上記増幅率の設定変更を行わないようにしたことを特徴とする請求項 7 に記載の撮像方法。

【請求項 11】

上記増幅率の上限を設定するようにしたことを特徴とする請求項 7 に記載の撮像方法。